

1. 地域情報

主な町名	黒河1区、黒河2区、黒河3区、黒河4区、黒河5区、黒河6区、黒河7区、 なお、5区(塚越)・6区(新星町)・7区(東太閤山)の別称もあり。				
人口※1	2,902人	高齢者数※1	653人	高齢化率※1	22.5%
世帯数※1	993世帯	小学校卒業までの児童数※1	185人		
地区の概況・特性 (歴史、産業、交通等)	県のほぼ中央射水市南部に位置し南は池多地区の丘陵につながり、東は富山市に隣接しています。中世南北朝期から見られる地名で、旧北陸道、更に飛騨への交通の要衝として栄え、特産の筍・果樹・米作等、四季を通じ自然のめぐみ豊かな地であり、人情あつく住民同士の絆も強い、市指定無形民俗文化財黒河夜高祭は子供中心の行事ながら地区一体となった住民交流の場となっている。				
地域資源 (関係団体、施設、連絡会等)	自治会・町内会	黒河自治会(1区～7区の町内会で構成)			
	地域活動団体 (町内会除く)	黒河地域振興会、ボランティア「竹の子グループ」、黒河ヘルスポランティア、食生活改善推進協議会黒河支部、射水市消防団南部方面団黒河分団、交通安全協会黒河支部、			
	NPOボランティア団体				
	高齢者関係施設等	グループホーム「おうちととなり」			
	障がい者関係施設等				
	子ども関係施設等	黒河保育園			
	教育機関	射水市立歌の森小学校、富山県立大学			
	市民利用施設	射水市黒河コミュニティセンター			
その他	郵便局、神社(3)、寺院(2)、公園・花壇(5)、医院(4) 県民公園「太閤山ランド」、				

※1 平成28年1月31日時点。

2. 地区社協の体制

設立年月日	平成 18年 9月 30日			
会長	氏名	佐野 武彦	就任年月日	平成18年9月30日
	兼務の状況	市花と緑の銀行・頭取		
組織体制	会長1名、副会長2名、書記(庶務)1名、会計1名、理事【地域福祉推進リーダー】25名、福祉委員(地域福祉人材)64名			
活動拠点	射水市黒河コミュニティセンター			

3. 地域総合福祉推進事業

ふれあい型	会議・研修会	総会年1回 先進地域あるいは施設研修年1回
	生活支援事業	一人暮らし高齢者昼食会、高齢者訪問、ふれあいサロン交流会
	他組織との連携による福祉活動事業	児童クラブとの3世代交流餅つき、同ペタンクとお汁粉の集い、伝統行事の保存伝承への協力、講話の集い、高齢者交通安全教室。
	地域福祉人材発掘・養成事業	福祉人材リスト <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 福祉委員研修会年1回

※福祉人材リストとは、地区内の活動実践者や協力者(ボランティア)の名簿です。

ケアネット型	活動調査・関係会議等	訪問調査、来訪電話相談に応じている。ケアネットチーム員との連絡会を持ち地区の状況把握、共通理解に努めている。時に地域ケア会議にも参加し問題の払しょくにつとめている。	
	活動状況(平成 年度実績)	○対象世帯数 <u>2</u> 世帯 (内訳) 高齢者世帯 <u>2</u> 世帯 障がい者世帯 <u> </u> 世帯 子どものいる世帯 <u> </u> 世帯 その他世帯 <u> </u> 世帯	○支援回数(延べ) <u>856</u> 回 主な支援内容 (見守り・声かけ・話し相手 除雪)

4. 広報など

広報誌等	広報誌の名称	黒河社会福祉協議会広報	発行頻度	年1回
	発行部数・配布方法等	社協への理解を求めるため100部印刷・社協総会時に配布		
	その他の広報	必要に応じ改訂・増刷配布		

5. その他の活動

活動・取組みの概要	いのちのバトン事業及び必要とする対象者の情報入手に努めている。避難行動要支援者台帳の作成、訂正等の管理。
-----------	--

6. 地区社協活動の特徴

「住み慣れた地域でいつまでも元気に…」を目指し民生委員児童委員の全面的協力に頼りつつ、ふれあい型及びケアネット型の充実を目途に活動を展開している。、ふれあいサロンでは老人クラブの活動との連携を図り、健康寿命の延長に努めているが、高齢化と共に参加者が減少傾向にある状況下での工夫として、カローリング、ペタンクン・各種軽スポーツ、健康体操、いきいき健康教室への勧誘など様々な機会を活用し、ポスター掲示や誘い合いで、高齢者が外出する機会増加の工夫をしている。
--